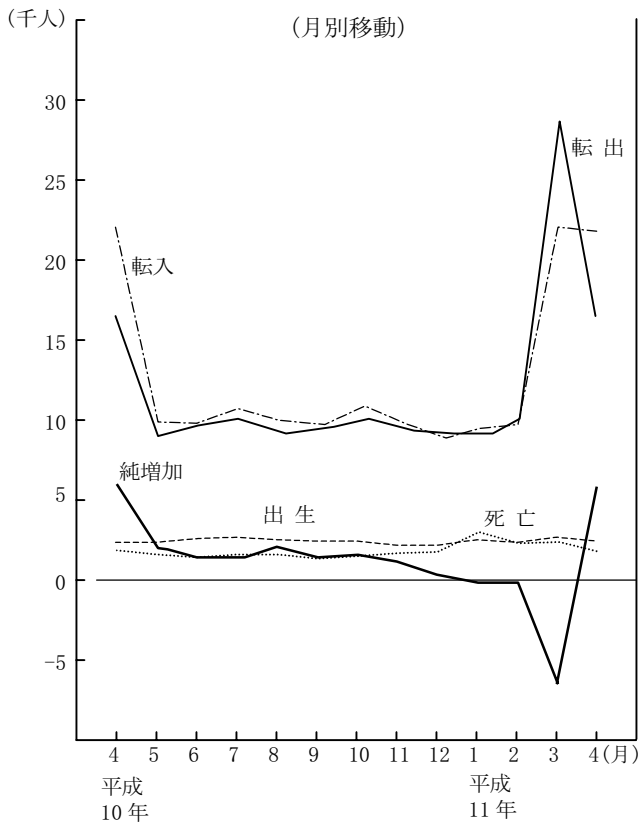


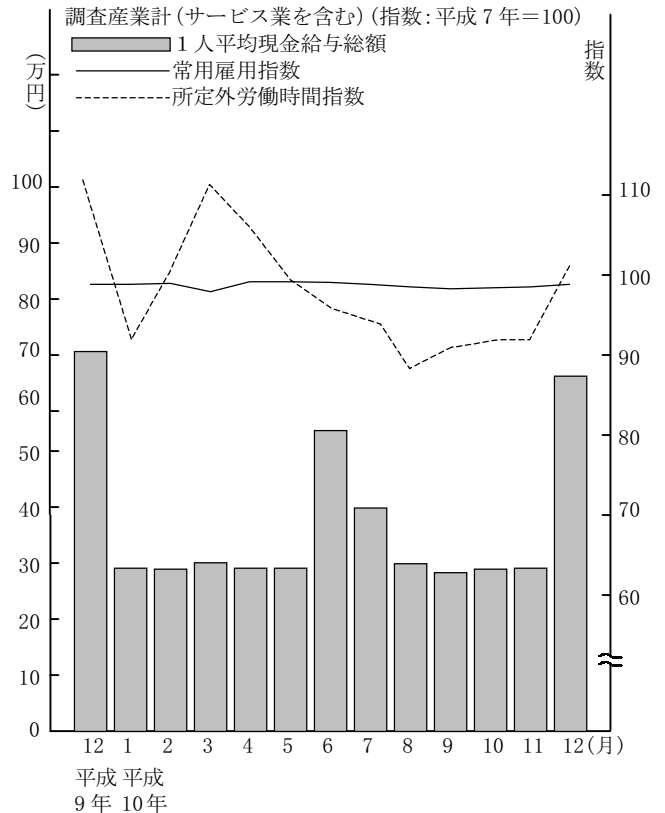
■今月の主な動き

今月の主な動き

人 口



賃金・労働時間・雇用



■人口 (11年5月1日)

4月の概況

本県の人口は、4月中に 5,919 人増加し、5月1日現在で、**2,994,174 人** (男 1,494,649 人, 女 1,499,525 人) となった。

内訳は、自然動態で、559 人 (出生 2,450 人, 死亡 1,891 人) 増加し、社会動態で、5,360 人 (転入 21,874 人, 転出 16,514 人) 増加した。前年同月と比べると 8,600 人 (0.3%) の増加である。

市町村別では、増加が 16 市 43 町村, 減少が 4 市 21 町村, 増減なしが 1 村である。

世帯数についても 4 月中に、6,690 世帯増加し、**980,921 世帯**となった。

■賃金・労働時間・雇用 (10年12月)

1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で **657,464 円**, 対前年同月比 8.2%減, このうち、きまって支給する給与は 274,622 円, 対前年同月比 1.2%減であった。特別に支払われた給与は、382,842 円であった。

2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で **155.8 時間**, 対前年同月比 2.0%減であった。このうち所定内労働時間は 144.8 時間, 対前年同月比 1.3%減, 所定外労働時間は 11.0 時間, 対前年同月比 10.5%減であった。

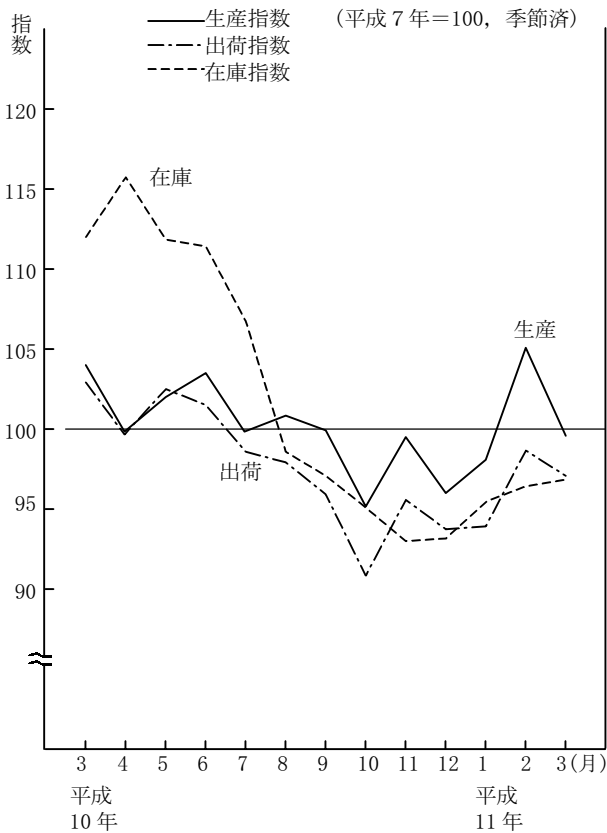
3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比 0.1%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模 5 人以上です。

なお、事業所規模 30 人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

■ 鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

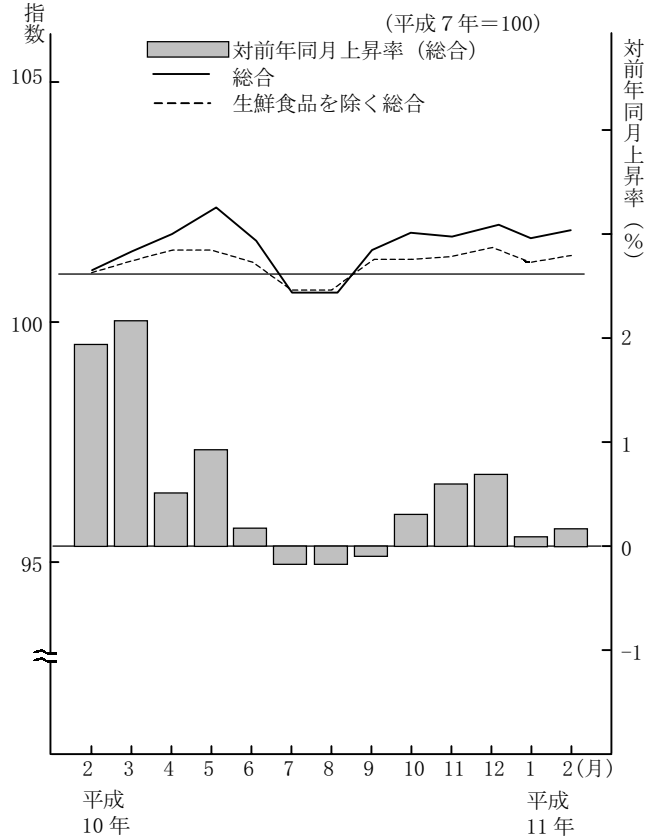


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（11年3月）

本県における平成11年3月の“鉱工業指数”（平成7年＝100）は、季節調整済指数で、生産が98.6、出荷が97.2、在庫が96.9で、前月比は、生産が△6.2%の低下、出荷が△1.5%の低下、在庫が0.5%の上昇であった。前年同月比（原指数）は、生産が△5.2%の低下、出荷が△5.6%の低下、在庫が△13.6%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、輸送機械工業、窯業・土石製品工業等が上昇し、化学工業、石油・石炭製品工業、一般機械工業等が低下した。出荷では、窯業・土石製品工業、輸送機械工業、繊維工業等が上昇し、鉄鋼業、化学工業、石油・石炭製品工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、鉄鋼業、電気機械工業等が上昇し、輸送機械工業、精密機械工業、プラスチック製品工業等が低下した。財別にみると、生産では、鉱工業用生産財、建設財等が上昇し、非耐久消費財、耐久消費財等が低下した。出荷では、建設財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、耐久消費財等が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、資本財、建設財が低下した。

■ 消費者物価指数



■ 消費者物価指数（11年2月）

平成11年2月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で101.8（平成7年＝100）となり、対前月比0.1%の下落、対前年同月比0.2%の上昇となった。

今月の上がった主な項目・・・果物8.5%，

今月の下がった主な項目・・・野菜・海草3.7%，衣料4.7%，
シャツ・セーター・下着4.0%

生鮮食品を除く総合は101.3となり、対前月比0.1%の下落、対前年同月比0.2%の下落であった。

■ 費目別指数

（平成7年＝100）

区分	指数	上昇率 (%)		区分	指数	上昇率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.8	△0.1	0.2	保健医療	112.0	0.0	△0.8
食料	103.9	△0.1	1.7	交通通信	97.7	0.0	△1.2
住居	101.9	0.2	△0.4	教育	107.4	0.0	1.0
光熱・水道	101.7	0.0	△1.0	教養娯楽	99.4	0.3	△0.8
家具・家事用品	95.6	△0.4	△1.1	諸雑費	102.8	0.1	1.2
被服及び履物	98.9	△3.1	0.3	生鮮食品を除く総合	101.3	△0.1	△0.2